

2019年10月8日  
日本酒造組合中央会

2019年9月28日(土)～10月6日(日)の「日本酒で乾杯 WEEK」が終了！  
**世界、全国各地で10万名以上が日本酒で乾杯！**

10月1日(火)の「日本酒の日」、恵比寿会場では総勢364名が一斉に乾杯

日本酒造組合中央会（東京都港区：会長 篠原成行）は、2019年10月1日（火）の「日本酒の日」と、その前後の9月28日（土）～10月6日（日）の9日間を「日本酒で乾杯 WEEK」として、日本酒の美味しさや乾杯の楽しさを参加者が体感するイベント「全国一斉 日本酒で乾杯！2019」（URL：<https://kampai-sake.jp/>）を開催しました。今年で5回目を迎え、各都道府県の酒造組合、酒蔵、飲食店、酒販店と連携して、日本酒で乾杯するイベントが世界、全国各地で行われ、公式サイトへの写真投稿分を含めて、**10万4,963名が乾杯**しました。また、SNSでハッシュタグ（#日本酒で乾杯2019、#kampaiwithsake2019）を付けた日本酒で乾杯している画像を多くの方が投稿される等、世界から注目される日本酒の人気の広がりを見せるイベントとなりました。



東京・恵比寿会場（アクトスクエア）での全国一斉日本酒で乾杯！の様子

10月1日（火）のメイン会場として、恵比寿ガーデンプレイスに隣接するアクトスクエアで開催された「**全国一斉 日本酒で乾杯！in 恵比寿**」では、19時に総勢364名が「日本酒で乾杯！」を行い、一斉乾杯の様子はYouTube LIVEから動画配信されて、各地からもイベント会場の雰囲気を楽しむことができました。

恵比寿にある日本酒と料理とのペアリングで人気の日本酒バー「GEM by moto」の千葉 麻里絵氏と、日本酒造組合中央会理事の宇都宮 仁氏、料理研究家の真野 遥氏、日本酒スタイリストのこばたてるみ氏をまじえたトークセッションと、彼らが考案した4タイプ別の日本酒に合う、ベーシックな食材ペアリング、最先端のペアリング体験ができるワークショップなどが行われ、参加した354名全員が同時に19時に乾杯する様子は圧巻。他にも360度パノラマスクリーン映像による映像と音楽の体験、津軽三味線奏者、作曲家の雅勝氏と、和太鼓奏者の千代園剛氏のコラボ演奏による伝統芸能パフォーマンスが行われるなど、エンターテインメントと、参加者同士の懇親会で、日本最大の日本酒乾杯イベントとして盛り上がりました。

代表挨拶をおこなった、日本酒造組合中央会 会長の篠原成行は次のように述べています。

「日本酒を世界の酒にしようと頑張っています。世界から注目の集まる2020年、また2020年以降を見据えて、「國酒」である日本酒の魅力・日本酒文化を広く国内外に伝えてまいります。日本酒業界の取り組みに、ぜひご注目ください。」

## 「全国一斉 日本酒で乾杯！2019 in 恵比寿」会場の様子



第1部「最先端のペアリング」ワークショップの様子



全国の日本酒が並ぶバーカウンター



第2部ペアリングセット



伝統芸能パフォーマンス

### ■日本酒の日とは

日本の十二支は、本来1年の月の記号です。その10番目にあたる「酉（トリ）」は、元来壺を表す象形文字で「酒」を意味します。日本の國酒である日本酒を後世に伝えるという想いを新たにするとともに、一層の愛情とご理解を、という願いをこめて1978年（昭和53年）に10月1日を「日本酒の日」と決めました。

### ■日本酒造組合中央会について

日本酒造組合中央会とは、酒類業組合などに関する法律に基づいた業界団体で、酒類業界の安定と健全な発展を目的とし、全国の約1,750の蔵元（清酒、本格焼酎・泡盛、本みりん）が所属しています。また、『國酒』といわれる日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりんについて情報発信することで、国内外に幅広く認知を向上する活動に取り組んでいます。

<<報道関係者からのお問い合わせ>>

日本酒造組合中央会 PR 事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

担当：安藤、藤岡 TEL：03-6894-3200 Mail：[japansake@ssu.co.jp](mailto:japansake@ssu.co.jp)

オフィシャル画像格納先：

<https://drive.google.com/drive/folders/1X6pcvioRRmRUd5rraCFmL9b8NjcMkPeD?usp=sharing>